

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全27件)	1	2	4	4	16

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
1	1-1-①	指定管理施設での幼児や小学生を対象としたスポーツ教室の開催	幼児や小学生を対象としたスポーツ教室を開催し、子どもの体力向上やスポーツに親しみきっかけを作る。	年13教室以上開催	年31教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年29教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
2	1-1-①	走り方教室の開催	「放課後子ども教室」の中で児童が正しい走り方を学べる教室を開催し、身体を動かす楽しさを伝えるとともに、スポーツに親しみきっかけを作る。	年18回以上開催	各区の小学校において計18回開催	5	計画通り実施できた。放課後子ども教室の担当から、翌年も再度開催を希望する声が多い。	開催希望が多く、学校ごとの開催回数にばらつきがあるため、不公平なく希望する全ての学校で開催できるように検討していきたい。	各区の小学校において計17回開催	4	計画通り実施できた。放課後子ども教室の担当から、翌年も再度開催を希望する声が多い。	静岡市スポーツ協会の協力を得ながら、実施方法を検討していく。	スポーツ振興課	2-2-③
3	1-1-①	小学生向け運動遊びリーフレットの配付	子どもたちが自ら進んで遊びやスポーツに親めるよう、楽しく体を動かす運動を紹介するリーフレットを配布する。	市内小学4年生へのリーフレット配布	市立小学校83校 5,038名 国立小学校1校 105名 私立小学校3校 165名 合計87校 5,308名にリーフレットを配付	5	計画通り実施できた。	児童が気軽に取り組める環境を作るため、今後はクロムブックを活用した取り組みを検討していきたい。	市立小学校83校 4,997名 国立小学校1校 91名 私立小学校3校 172名 合計87校 5,150名にリーフレットを配付	5	計画通り実施できた。	令和7年度 廃止	スポーツ振興課	
4	1-1-①	静岡市立中学校における部活動改革の推進	部活動における課題を解消し、中学生がスポーツや文化芸術に触れる新たな活動の場と機会を確保し、人間力の向上と生涯にわたるスポーツや文化芸術に親しむための入口としての役割を担う活動とする。	市立中学校全43校にて実施	市内4クラブにおいて実証事業を実施	5	実証事業を通して、全市展開に向けたスキームを構築するための成果と課題が明らかになった。	部活動をベースとしたスキームからの改変などの抽出した課題を、次年度の実証事業に反映させる。	・R8夏の休日の「シズカツ」を想定し、前年度から続けて、市内4つの部活動において、実証事業を実施。 ・平日実施を想定した地域クラブを行うため、部活動が勤務時間内で終了する11月～2月に実証事業を実施。	3	平日は部活動のままで、休日から地域クラブ活動を実施する方法では、実施主体が異なることで責任の所在が不明確になるなどの課題が明らかになったため、部活動から地域クラブへの転換を、平日と休日の活動を同時期に行うこととした。(R9.8月末部活動終了 R9.9月しずおか地域クラブ活動開始)	これまでとは異なる新たな地域スポーツ・文化芸術活動の環境を構築していく必要があるため、教育委員会のみで取組を進めるのではなく、市長部局を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、庁内一体となって、取組を進めていくこととなった。	学校教育課	2-2-①
5	1-1-①	体力向上支援事業	各学校で行われている体力向上のための取組みに、大学教授やスポーツインストラクター等の専門家を派遣して支援する。	・支援回数年間15回以上 ・支援校からの実績報告の周知及び授業改善への活用	小学校(延べ15校)、中学校(2校)における支援事業の実施	5	専門家による助言等の支援により、どの子も楽しく運動に取り組むことのできる体育授業が行われた。	支援によって得られた知見について、より多くの教員に広めるために、市内各校に向けた周知や体育に関する研修等での周知を実施する。	小学校2校における支援事業の実施	2	専門家による実技指導・講義等の支援により、器械運動系(マット運動・鉄棒運動)の系統性を押さえ、体育授業の基本構造を学ぶ研修が行われた。	支援によって得られた知見をより多くの教員に広めるため、市内各校に向けて、体育の授業づくりに関する研修等での周知する。	学校教育課 教育センター	2-2-①
6	1-1-①	「体力アップコンテストしずおか」への参加促進	市内の小学校を対象にし、県教育委員会が主催する「体力アップコンテストしずおか」への参加を促進する。	参加率50%	参加校11校/86校 参加率12.8%	2	朝の時間や休み時間に運動を行う時間が確保できなくなっているため、参加しようとする学校が減ってきている。	学級単位での参加だけでなく、クラブ活動や任意のグループでも参加できることを周知していく。	参加校13校/86校 参加率15.1%	2	朝の時間や休み時間に運動を行う時間が確保できなくなったり、暑さにより運動する期間が短くなったりしているため、参加する学校が減ってきている。	学級単位での参加だけでなく、クラブ活動や任意のグループでも参加できることを周知していく。	教育センター	2-2-③
7	1-1-①	新体力テストの実施	小学3年生から中学3年生を対象に新体力テストを実施する。	体力・運動能力の向上に向けた調査結果の活用	・調査結果と指導の重点をまとめた「授業づくりのポイント」を作成し、各校に周知した。	4	学校訪問で参観した授業の多くは、ポイントを押さえた授業が行われている。	・調査結果を日常の体育的活動に生かしていくことが難しい。 ・各校の好事例を紹介し、よりよい取組を広げていく。	調査結果と指導の重点をまとめた「授業づくりのポイント」と「体力向上における成果と課題」を作成し、各校に周知した。	4	学校訪問で参観した授業の多くは、ポイントを押さえた授業が行われている。	・調査結果を日常の体育的活動に生かしていくことが難しい。 ・各校の好事例を紹介し、よりよい取組を広げていく。	教育センター	2-2-③
8	1-1-②	指定管理施設での働く世代や女性を対象としたスポーツ教室の開催	スポーツ実施率の低い働く世代や女性を対象としたスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の底上げに繋げる。	年4教室以上開催	年12教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年12教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
9	1-1-②	勤労者福祉センターにおけるフィットネス講座の充実	勤労者福祉センター(ラベック静岡、清水テルサ、来・て・こ)にて、フィットネス講座等を開催し、働く世代の健康の増進を図る。	フィットネス講座開催実績 北部:年100講座以上 南部:年30講座以上 東部:年1,000時間以上	北部:166講座 南部:32講座 東部:2588.5時間	5	各館、利用者のニーズに応えた多様な講座を実施した。夜間の講座など、勤労者が受講しやすいような工夫も見られた。		北部:182講座 南部:30講座 東部:1,790時間(時間単位)	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	運営指針の検討中であるが、指針決定までは引き続き勤労者の健康の増進及び余暇利用の充実を図る。	商業労政課	
10	1-1-③	指定管理施設での高齢者を対象としたスポーツ教室の開催	高齢者を対象としたスポーツ教室を開催することで、高齢者の体力づくりや健康増進を図る。	年5教室以上開催	年13教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年13教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全27件)	1	2	4	4	16

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
11	1-1-③	全国健康福祉祭 (愛称:ねんりんピック) への選手団派遣	高齢者等の生きがいと健康づくりを推進するため、「ねんりんピック」に出場する選手団を派遣する。	静岡市選手団派遣の実施 (年1回)	・全国健康福祉祭えひめ大会に 代表選手団を派遣 ・派遣人数134人	5	計画通り実施できた。	多くの高齢者から予選会への 参加を募り、予選会を活性化さ せるため、予選会を開催する競 技団体へ大会周知を促すこと もに当課としても広報紙など で情報発信をしていきたい。	・全国健康福祉祭鳥取大会に代 表選手団を派遣 ・派遣人数135人	5	計画通り実施できた。	多くの高齢者から予選会への 参加を募り、予選会を活性化さ せるため、予選会を開催する競 技団体へ大会周知を促すこと もに当課としても広報紙など で情報発信をしていきたい。	高齢者福祉課	
12	1-1-③	しぞ〜かでん伝体操 活動グループ支援事業	静岡市版介護予防体操「しぞ〜かでん伝体操」「しぞ〜かちゃちゃき体操」を周知し、住民主体で 取組む活動拠点の立上げを支援する。また、活動 が継続的に取組めるよう体操指導や体力測定等 を実施する。	拠点数の設置(目標総数 R12年度までに210箇 所)	活動拠点数 19箇所増加 5箇所減少 延拠点数 176箇所	4	企業の参画により、活動拠点の 設置が可能となり、新規計画設 置数を大きく上回り評価でき る取組みとなった。	新規活動拠点の設置に向け、自 治会や関係施設への周知等、当 課からアプローチをしていき たい。	活動拠点数 7箇所増加 1箇所減少 延拠点数 182箇所	4	自主活動グループが少なかっ た駿河区の圏域に新規の立上 げが相次ぎ、新たな参加者の増 加に至った。	新規活動拠点の設置に向け、自 治会や関係施設への周知等、当 課からアプローチをしていき たい。	地域リハビリテーション推進セン ター	1-2-③
13	1-1-④	指定管理施設での障がいのある人も参加できるスポーツ教室の開催	障がいのある人でも参加できるスポーツ教室を開し、障がいのある人のスポーツをする機会を創出する。	年2教室以上開催	年5教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室 開催を検討しながら、継続し て実施していく。	年5教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室 開催を検討しながら、継続し て実施していく。	スポーツ振興課	
14	1-1-④	パラバドミントン サポートシティ推進事業	障がいの有無にかかわらず市民の誰もが気軽に スポーツに親しむことができる機会の創出と、共 生社会の理解促進を図る。	年5回以上実施	パラバドミントンスクールキャ ラバン 5校で実施 実施校:服織西小 長田北小 清水駒越小 番町小 清水穴原小 パラバドミントン交流会 1回開催 開催日:令和6年2月12日 参加者:21人 会 場:清水総合運動場体育館	5	スクールキャラバンを5校で実 施し、スポーツや障がい者ス ポーツに興味・関心を示す児童 の割合が授業の実施前後で大 幅に増加、障害のある方、障が いについても理解を示す児童 が授業実施前後で大幅に増え ている事から共生社会への理 解を促進する事ができた。	障がい者スポーツ全体の理解 促進、普及促進を進めていくに あたり、パラバドミントンに限ら ずパラスポーツ全体で理解促 進、普及促進を進めていく必要 がある。	パラバドミントンスクールキャ ラバン 5校で実施 実施校:新通小、足久保小、賤 機南小、久能小、三保第二小	5	計画通り実施できたが、児童の 障がいスポーツへの理解をより 一層深めるために、実施回数 を増やす、実施方法を見直すな どが必要。令和7年度は、 Japanパラバドミントン国際大 会開催事業と連携し、実施校数 及び回数を一校につき4回に 増やす。	スポーツ交流課	3-1-②	
15	1-1-④	全国障害者スポーツ大会への 静岡市選手団の派遣	障がいのある人を「全国障害者スポーツ大会」に 派遣することで、社会参加を促進し、また障がい 等に対する市民の理解を深める。	年1回実施	特別全国障害者スポーツ大会 「燃ゆる感動がこしま大会」に 静岡市選手団31名を派遣し た。	5	障がいのある人(身体・知的)を 「全国障害者スポーツ大会」に派遣 したり、県の大会である「わかふじ スポーツ大会」を開催したりする ことで、社会参加を促進し、また市民 の理解を深めた。	全国障害者スポーツ大会 「SAGA2024」に静岡市選手 団30名を派遣した。	5	障がいのある人(身体・知的)を 「全国障害者スポーツ大会」に派遣 したり、県の大会である「わかふじ スポーツ大会」を開催したりする ことで、社会参加を促進し、また市民 の理解を深めた。	スポーツ振興課			
16	1-1-④	障がい者スポーツ教室事業	日頃スポーツへの参加が難しい障がいのある人 のために、スポーツの経験が少ない人でも取組み やすい、ボッチャやフライングディスク等の体験教 室を開催する。	年15回開催 参加者数 600人	年15回実施 参加者数 467人	4	計画どおり、15回実施できた が、夏期に参加者の減少が見ら れ、参加者数は目標を達成でき なかった。	これまでの実施内容を分析し、 より効果的な開催時期を検討 していく。遠隔地への積極的な 出張等の企画に取り組んでい く。	開催数 年15回実施 参加者数 388人	3	計画どおり、15回実施できた が、会場により参加者のばらつ きがみられ、参加者数は目標値 の約6割にとどまった。	これまでの実施内容を分析し、 開催地等より集客を図る開催 方法を検討していく。	障害福祉企画課	2-1-②
17	1-1-④	障害者スポーツ フェスティバル事業	清水区内で3障がいを対象としたスポーツ大会を 障害者スポーツフェスティバル実行委員会が開催 する。	年1回開催 参加者数 1,000人	年1回(午前中のみ)開催 参加者数 525人	3	過去3年間中止したフェスを新 型コロナウイルス感染症の感染 対策を講じたうえで再開したこ とは一定の評価ができるが、午 前中のみ開催で、参加者は目 標の5割となった。	引き続き、感染対策を実施し たうえで、多くの人に安心して 参加してもらうようにしてい く。	年1回開催 参加者数 636人	3	午前4種目、午後1種目実施し たことにより参加者は、前年度 より増加した。体育館での開催 や開催時間の見直しについて、 実行委員会で話していく。 ※5月開催は実行委員会構成 団体の希望により固定	開催時間を午後まで延ばした が、近年では5月でも気温上昇 が著しく熱中症の症状が出た 参加者もいた。体育館での開催 や開催時間の見直しについて、 実行委員会で話していく。 ※5月開催は実行委員会構成 団体の希望により固定	障害福祉企画課	2-1-②
18	1-1-④	身体障害者 スポーツ大会事業	葵・駿河区内で身体に障がいのある人を対象とし たスポーツ大会を行政と静岡市身体障害者団体 連合会が開催する。	年1回開催 参加選手数 160人	年1回(午前中のみ開催) 参加選手数 63人	3	参加者の高齢化が進んでおり、 参加者人数も減少している。	アンケートをとりながら、共催 団体と参加者の期待に沿える ような大会を目指していく。	年1回(午前中のみ開催) 参加選手数 71人	3	参加者の高齢化が進んでいる。 今回は第60回大会で前年に比 べ参加者が増加したが、過去か ら比べると減少している。	アンケートをとりながら、共催 団体と参加者の期待に沿える ような大会を目指してい く。	障害福祉企画課	2-1-②
19	1-1-④	精神障がい者スポーツ交流強 化事業	スポーツを通じて、精神に障がいのある人の社会 参加を促進する。	年5回開催	0回	1	コロナ禍もあったことから、受 託先側の運営状況や、精神障 がいにも精通している受託先が 少ない。	受託先等の検討を含め、実施で きる体制整備を行っていき たい。	0回	1	令和5年度に引き続き、委託先 がなく実施が困難であった。	受託先等の検討を含め、実施で きる体制整備を行っていき たい。	精神保健福祉課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全27件)	1	2	4	4	16

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
20	1-1-⑤	チャレンジなわとびの開催	自身の体力や能力、年齢に応じて4部門あるテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	年5回以上開催 延べ参加者数 700人以上	年5回開催 参加者延べ 788人	5	計画通り実施できた。	参加者を増加させるため、葵・駿河区でのなわとびの普及等、実施方法や受験票の見直しを検討していく	年5回開催 参加者延べ 823人	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	参加者を増加させるため、葵・駿河区でのなわとびの普及等、実施方法や受験票の見直しを検討していく	スポーツ振興課	
21	1-1-⑤	体力テスト会の開催	自身の体力・運動能力の現状を把握するための体力テストを実施し、健康・体力づくりに役立ててもらうような機会を提供する。	年1回開催	1回開催 参加者数90人	5	計画通り実施できた。	県が指定する調査人数156人を達成できるよう、周知方法、開催方法を見直していく。	1回開催 参加者数112人	5	20~64歳が 78人、65~79歳が 34人参加した。前年度参加者への案内、公共施設へのチラシ配架、スポーツ協会ホームページ、市LINEにより広報を行った。電話申込に加えてインターネット申込も行い、146人の申込があった。国、県が指定する調査人数156人を達成できるよう、開催方法を見直していく。	参加者の呼びかけや自分の体力への関心を高める広報活動をし、参加者を増加させることが必要。また、幼児用スペースの確保など、より参加しやすい事業にするための運営を検討していきたい。	スポーツ振興課	
22	1-1-⑤	クライミング教室の開催	清水駅東口クライミング場の利用促進を図るため、当該施設の利用登録証を取得できる教室を開催する。	年1回開催	年1回(2期)開催 延べ参加者数 143人 1期目:60人 2期目:83人	5	計画通り実施できた。	クライミング場利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年1回(2期)開催 延べ参加者数 100人 1期目:45人 2期目:55人	5	計画通り実施できた。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
23	1-1-⑤	「Sport in Lifeプロジェクト」による「する」スポーツの推進	WEBなどを活用し、生活の中で無理なく行える身体活動(徒歩、自転車利用等)の推奨や自宅等で簡単にできる軽運動メニューの紹介等を行い、日常生活にスポーツを取り入れる「Sport in Lifeプロジェクト」を推進する。	継続実施	ウェルネスパーク静岡での健康イベントにおいて、握力測定とチラシの配布を実施した。	3	普段スポーツを行わない人達に向けて、実践を通して意識改革を行うことができた。	自宅で簡単にできる運動メニューの開発と周知を実施し、より多くの市民に向けたアプローチを行っていく。	運動・スポーツ習慣化促進事業の中で、「スポーツ・イン・ライフ実践プログラム」の動画を5本作成した。	5	計画通り実施できた。	作成した動画を広く市民に周知していく。	スポーツ振興課	
24	1-1-⑤	指定管理施設での誰でも参加できる健康増進教室の開催	参加対象を限定せず、誰でも気軽に参加できる健康増進教室を開催し、市民のスポーツに対するハードルを下げるとともに、スポーツ実施率向上を図る。	年47教室以上開催	年56教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年55教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
25	1-1-⑤	生涯学習施設でのスポーツに関する講座の開催	生涯学習施設でスポーツに関する講座を開催する。	無人館を除く37施設中34施設で開催	無人館を除く37施設中32施設で実施。	4	目標値には届かなかったが、各館で各種多様なスポーツに関する講座を実施した。		無人館を除く37施設中36施設で開催した。	5	目標値を上回る、多くの施設で、各種多様なスポーツに関する講座を開催した。		生涯学習推進課	
26	1-1-⑤	東静岡アート&スポーツ/ヒロバの運営	若者から特に人気の高いローラースポーツのすそ野を広げるため、初心者や未経験者が楽しむことのできるイベント等を開催する。	イベントの開催	・スケートボード、BMX、インラインスケートの3ジャンルで毎週初心者向けスクールを開催 ・年4回無料体験会を実施 ・その他スケートボード、BMXの全国大会を開催	4	3ジャンルの初心者向けスクールを継続して実施したため、初心者、未経験者のすそ野拡大に寄与した。	今後も継続して各種スクールを開催するとともに、無料体験会や見ることから始めるきっかけをつくる全国大会誘致などさらなるすそ野拡大に向けて取り組んでいく。	・スケートボード、BMX、インラインスケートの3ジャンルで毎週初心者向けスクールを開催 ・インラインスケートにおける学外活動の受け皿としての部活動事業の実施 ・その他スケートボード、BMXの全国大会を開催	4	3ジャンルの初心者向けスクールを継続して実施したため、初心者、未経験者のすそ野拡大に寄与した。	R7.9月の閉鎖までの間は今後も継続して各種スクールを開催するとともに、無料体験会や見ることから始めるきっかけをつくる全国大会誘致などさらなるすそ野拡大に向けて取り組んでいく。	企画課	2-1-①
27	1-1-⑤	スポーツインストラクターの派遣	市の機関等からの依頼により、地域施設等でのスポーツ教室へインストラクターを派遣することで、体を動かす楽しさを伝える。	派遣先5か所以上	・15か所(提供内容は19教室)へインストラクターを派遣 ※1箇所複数教室の依頼あり ・実施回数は計145回	5	派遣依頼については、前年度からの継続依頼が大半であり、インストラクターの指導内容等に満足いただけている。	令和5年度から行っている、市教委が推進する「放課後子ども教室」へのインストラクター派遣を継続していきたい。	・16か所(実施回数は計163回) ・放課後子ども教室では18校にインストラクターを派遣	5	・事業所間の紹介等により、新規の依頼もあり、派遣先数、実施回数ともに増加した。 ・満足度も高く、事業の目的を達成した。	静岡市スポーツ協会		

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携

基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

施策1の柱 2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数(全12件)	0	0	1	1	10

NO	基本施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び解決に向けた取組内容		
28	1-2-①	区民体育大会の開催	各区において、学区・地区対抗のニュースポーツ大会や運動会を開催し、スポーツ振興や地域コミュニティの活性化を図る。	延べ参加者数 9,900人以上 ・葵区 4,500人以上 ・駿河区 2,000人以上 ・清水区 3,400人以上	延べ参加者数 ・葵区 3,486人 ・駿河区 146人 ・清水区 953人	3	駿河区は雨天により中止、清水区は5年ぶりの開催となり、事業の周知不足及び半日開催により、参加者数が目標値を大幅に下回った。	大会開催に向けた事業の周知を行い参加者数増加を目指す。	延べ参加者数 ・葵区 278人 ・駿河区 1,940人 ・清水区 1,304人 合計 3,522人	3	葵区の大運動会は雨天中止のため、参加者数が目標値を大幅に下回った。	市民の需要に合った大会開催の方法を検討していく。	スポーツ振興課	2-1-②
29	1-2-①	スポーツ推進委員と協働でのニュースポーツ体験会の開催	だれもが気軽に参加できるニュースポーツの体験会を開催する。	・チャレンジスポーツラリー年1回開催 ・チャレンジスポーツDAY各区1回以上開催	①チャレンジスポーツラリー参加者数 232人 ②チャレンジスポーツDAY 葵区 104人 駿河区 269人 清水区 102人 合計 475人	5	計画通り実施できた。	参加者を増やすため、チラシ配架等の広報活動を行う。また、ニュースポーツに関わらず民間企業と協働し、参加者の興味をひくようなブースの設置を行う。	①チャレンジスポーツラリー参加者数 420人 ②チャレンジスポーツDAY 葵区 123人 駿河区 114人 清水区 136人 合計 793人	5	計画通り実施できた。	チラシ配架の方法を工夫したり、LINEやHP等で配信したり、参加者を増やすための工夫をする。	スポーツ振興課	1-1-⑤
30	1-2-①	スポーツ推進委員によるコーディネーター活動に対する支援	スポーツ推進委員主催による大会や地域スポーツ振興に係る事業実施の連絡調整を支援する。	スポーツ大会やイベントへの参加者数 1,000人以上	チャレンジなわとび 725人 市民交流ディスコン大会 104人 葵区ファミバド・ディスコン大会 191人 駿河区ファミバド交流大会 68人 駿河区ディスコン・ラダゲッター大会 64人 清水区ビーチボール大会 67人 清水区キンボール大会 52人 合計1271人	5	計画通り実施できた。	スポーツ推進委員の指導技術向上を図り、継続し手実施していく。	チャレンジなわとび 823人 市民交流ディスコン大会 104人 葵区ファミバド・ディスコン大会 200人 駿河区ファミバド交流大会 82人 駿河区ディスコン・ラダゲッター大会 68人 清水区ビーチボール大会 75人 清水区キンボール大会 42人 合計 1,394人	5	計画通り実施できた。	スポーツ推進委員の指導技術向上を図り、継続し手実施していく。	スポーツ振興課	2-1-②
31	1-2-②	総合型地域スポーツクラブの活動支援	クラブの紹介チラシ及びホームページを作成し、活動内容を周知する。また、クラブの指導者によるスポーツ教室の開催や指導者の派遣を行う。	・合同イベント年1回開催 ・スポーツ教室年5回以上開催	スポーツ教室 年6回開催	4	合同イベントの開催がクラブの支援に繋がっていないため、5年度から開催を中止した。スポーツ教室は概ね計画通り開催した。	クラブの指導力向上、育成のため、スポーツ教室の開催を支援していく。	年8回開催 参加者数 596人	5	計画通り実施できた。教室によって参加人数に偏りがでてしまったため、教室の内容、開催場所や実施回数等を検討していく。	クラブの指導力向上、育成のため、スポーツ教室の開催を支援していく。	スポーツ振興課	2-1-②
32	1-2-②	民間事業者と連携したスポーツイベントの実施	民間事業者と連携して各種スポーツイベントを開催するとともに、民間事業者による公共施設を活用したスポーツの推進に係る事業の実施を促進する。	随時開催	民間事業者と連携したスポーツイベント1回開催	4	SPOPIAシラトリと「金哲彦ランニングクリニック」を令和5年9月30日(土)実施	イベント数を増やし、より多くの市民が参加できることを目指していく。	民間事業者と連携したスポーツイベント1回開催	4	SPOPIAシラトリと「金哲彦ランニングクリニック」を令和6年11月27日(日)実施	イベント数を増やし、より多くの市民が参加できることを目指していく。	スポーツ振興課	2-1-②
33	1-2-②	職場における運動・スポーツの普及促進	企業の福利厚生事業等アプローチを行い、職場内におけるスポーツの実施を促す。	継続実施	健康づくり推進課から発送する各保険者(40社)宛ての郵便物に、スポーツ・イン・ライフの啓発やLINEの友達登録を促すチラシを同封し、スポーツの普及を図った。	4	チラシの配布等にとどまってしまうため、直接的なアプローチができなかった。	企業が福利厚生として取り組めるようなイベントの実施や職場でできる運動メニューの紹介等を行いたい。	運動・スポーツ習慣化促進事業の中で、「スポーツ・イン・ライフ実践プログラム」の動画を5本作成した。	5	計画通り実施できた。	作成した動画を広く市民に周知していく。	スポーツ振興課	
34	1-2-②	地域団体との連携イベントの開催	地域団体と連携し、スポーツ以外の要素を取り入れたイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年5回以上開催	・年10回の開催 ・参加人数 2,090人	5	コロナ禍で中止、縮小していたイベントも、実施内容の見直しを行い、地域団体と連携し、実施できた。	施設の認知度向上を目指し、地域の魅力を発信できるよう、地域資源を活かした事業を展開していく。	・年9回の開催 ・参加人数 2,329人	5	各事業ともに参加人数が増加しており、施設の認知度向上、利用促進にもつながっている。	地域とのコミュニケーションを継続を大切に、地域で関わる人々を増やしていく。	静岡市 まちづくり公社	
35	1-2-②	総合型地域スポーツクラブとの連携事業	スポーツ施設と総合型地域スポーツクラブと連携したイベントを開催する。	年2回以上開催	・年2回の開催 ・参加人数 420人	5	プロチームも使用する清水庵原球場、蛇塚スポーツグラウンドを利用した連携事業を実施することで、総合型地域スポーツクラブの活動支援ができた。		・年2回の開催 ・参加人数 397人	5	プロ野球でも使用する庵原球場、天然芝グラウンドの蛇塚スポーツグラウンドなど、普段あまり体験のできない環境でのプレー機会を創出することができた。	各団体とのコミュニケーションを図り、試合だけでなく、他県チーム交流機会の創出や保護者向け栄養講座なども検討していきたい。	静岡市 まちづくり公社	2-1-②
36	1-2-②	企業等との協同事業	企業等と協働したスポーツ教室を開催する。	年1回以上開催	・年8回の開催 ・参加人数 1,402人 新たに、静岡ブルーレヴズ、80スキップとの協働事業を3施設で3回実施。	5	新たに静岡経済同友会静岡協議会「テイクオフ静岡」の採択事業である「80スキップ」事業と連携した事業を行い、小学生からトップチームまで幅広い層に対して、科学的な視点での運動能力を把握できる場が提供できました。	企業等の協働開催により、魅力的で専門的な教室開催ができるよう企業等の連携を図っていく。	・年4回の開催 ・参加人数 60人	5	・サッカー教室と科学的測定を掛け合わせることで、普段体験できないプログラムを提供できた。 ・ラグビー教室では、チームの普及活動にも貢献できた。	スポーツと他分野を癒合せた協働事業を検討していく。 例:スポーツ×食 など	静岡市 まちづくり公社	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携

基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策1の柱 2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	1	10

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
37	1-2-③	元気静岡マイレージ事業	参加者が健康づくりの取組目標を設定し、目標達成によって貯めたポイントで県内の協力店で利用できる「ふじのくに健康いきいきカード」を取得したり、様々な賞品が当たる抽選にチャレンジできる。参加者が自ら健康づくりに取組むことを通じて、市民が運動習慣を身につけるきっかけを作る。	①参加者数900人 (令和6年度から) ②働き盛り世代(30~50歳代) の参加者の割合35%以上	① - ②働き盛り世代(30~50歳代) の参加者の割合45.7%	5	目標を上回って実施できた。働き盛り世代の取組を拡大するため、市内の企業に働きかけ参加につなげた。	引き続き、働き盛り世代の参加拡大の他、コロナ禍以降参加者が横ばいのため、増加に向けた周知拡大。	①1,253人 ②42.9%	5	特に、働き盛り世代(30~50歳代)の参加促進に注力し、保険者、企業、団体等関係機関への周知を強化することで、連携した参加呼びかけを行った。	継続参加している個人や団体への支援を行いながら、企業や関係機関と連携した広報を強化し、新たな参加者拡大を図る。	健康づくり推進課	
38	1-2-③	自転車の利用促進	自転車に関連した参加型・体験型イベントを開催し、参加者の自転車利用を促進することで、市民が日常で気軽に運動を取り入れるきっかけを作る。	年1回開催	・年1回開催 ・来場者数約1,000人 ・市内各所イベント等へのブース出展によるPRの実施	5	目標達成に加え、主催のイベント以外でも機会をとらえ自転車推進、PRを行った。	・イベント実施の効果が見えずらい。 ・民間の活力を取り入れ、民間主体のイベント(自転車利用促進施策)実施を推進していく。	・年4回の開催 ・自転車関連イベント実施の補助金制度を設立し、民間主体のイベント実施へシフト	5	・民間主体のイベント実施を補助する仕組みを作ることで、市が主体で実施するよりも実施回数も多く、多様なイベントを実施できた。	・イベント実施の効果が見えずらい。 ・引き続き、民間の活力を取り入れ、民間主体のイベント(自転車利用促進施策)実施を推進していく。	交通政策課	
39	1-2-③	スポーツ施設における他分野のイベントの開催	スポーツ施設にてスポーツ以外の分野のイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年8回以上開催	・年10回の開催 ・参加人数 359人 新たに、ドローン講習会、防災講習会を開催。	5	ドローン講習会や防災講習会など、時代に合わせた事業を新規開催するなど、日頃スポーツをされない方にも施設を知っていただくきっかけとなり、利用促進が図れた。	スポーツと他分野を関連づけた取組みにより、施設の認知度向上を目指す。	・年10回開催 ・参加人数 376人 新たにプラモデル作り教室を開催。	5	静岡の産業との連携事業など、静岡市の魅力を再発見するとともに、施設の認知度向上、利用促進につながった。	施設未利用者へのアプローチとして、他分野との連携事業なども企画していく。	静岡市 まちづくり公社	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備  
 施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり  
 基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策2の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全16件)	0	0	3	4	11

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
40	2-1-①	スポーツ施設改修事業	静岡市スポーツ施設配置適正化方針による個別施設計画に基づく改修を行い、施設の長寿命化を図る。	計画的な改修の実施	継続して実施	3	総合計画への登載に向けて、要求を実施したが、事業化に至らなかった。	要求内容を精査のうえ、総合計画への登載を要求していく。	清水庵原球場改修等事業(内野スタンド防水修繕)を実施。	5	総合計画に登載された左記事業について、計画通り改修完了した。	優先度及び緊急度を考慮して要求内容を精査し、引き続き総合計画への登載を要求していく。	スポーツ振興課	
41	2-1-①	学校等体育施設利用事業	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	延べ利用者数 210万人以上	利用者数 1,932,798人	4	目標人数は達成できなかったものの、目標人数の約92%の利用実績であったため。	市内小中学校において、統廃合が進んでおり、関係課や既存利用団体との調整が必要となる。	利用者数 1,848,083人(集計中 6/12現在)	4	目標人数は達成できなかったものの、目標人数の約95%の利用実績であったため。	市内小中学校において、統廃合が進んでおり、関係課や既存利用団体との調整が必要となる。	スポーツ振興課	
42	2-1-①	グラウンド夜間照明の保守・点検	学校グラウンド夜間照明施設等の球切れ、照度、不具合などに対して、確実な点検及び適正な修繕を行う。	保守点検 年1回 修繕および不具合への対応は通年(随時実施)	保守点検 各施設1回実施 修繕 随時実施	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	保守点検 各施設1回実施 修繕 随時実施	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	
43	2-1-①	アリーナの整備	交通利便性が高いJR東静岡駅北口市有地において、トップレベルのスポーツの観戦等ができるアリーナ整備を促進実施する。	アリーナの整備	・市場調査の実施 ・アリーナ整備調査・検討業務及び公共交通影響調査・検討業務の実施 ・市長と地元代表の意見交換の実施	5	・市場調査により、アリーナの事業性や参画条件等に関し、民間事業者の様々な意見が得られた。 ・調査・検討業務により、イベント時に想定される公共交通(JR・静岡鉄道)への影響や、アリーナの運営時の収益、経済効果等を確認した。 ・市長と地元代表との意見交換により、今後、基本計画策定を進めることについて、地元合意が得られた。	・まちづくりに関する基本構想を策定し、市民の理解を高めていく必要がある。 ・民間事業者との意見交換等を通じ、民間事業者の参画意欲を高める事業手法を定める必要がある。 ・周辺道路の現状の渋滞対策を進め、地元住民の渋滞に対する懸念を払拭する必要がある。	・静岡市アリーナ基本計画を策定した。 ・アリーナ建設予定地にて発掘調査を開始した。 ・まちづくりアイデアコンペを実施し、東静岡地区まちづくり基本構想骨子をまとめた。	5	計画通りの進捗であり、事業手法をPFI(BT+コンセッション方式)とし、令和7年度中に事業者公募を実施する予定。	事業者公募に向け、民間事業者との意見交換により、実施方針、要求水準書等の詳細を決定する。 アリーナを核としたまちづくりの推進のため、東静岡地区まちづくり基本構想、基本計画の策定を行う。	社会共有資産活用推進課	
44	2-1-①	サッカースタジアムによるまちづくり検討事業	本市のまちづくりにとってふさわしいスタジアムのあり方に係る調査・検討を実施する。	本市のまちづくりの方向性に合わせた整備の推進	3/26に「JR清水駅東口のまちづくりのための土地利用条件整理の最終報告」を行った	5	スタジアム整備の最有力候補地における土地利用条件整理や現スタジアム大規模改修時金額を参考値として対外公表できたことは一定の評価ができる	熟度を高めていくための取組として、事業計画案(※)の作成が必要 ※事業概要、スケジュール、財源確保、関係者調整等	スタジアム整備の最有力候補地の地権者と土地利用に関する事業計画案の検討を行うとともに、関係者との調整を行った。	4	最有力候補地の地権者と土地利用に向けた協議は最終段階に進んだが、合意には至っていない。	最有力候補地の地権者の合意が得られるよう、引き続き協議を行っていく。	企画課 スポーツ交流課	3-2-①
45	2-1-①	生涯学習施設におけるスポーツ活動団体への貸館の実施	生涯学習施設でスポーツ活動を行う団体への貸館を実施する。	無人館を除く37施設で実施	無人館を除く37施設で実施した。	5	例年通り、貸館を実施した。		無人館を除く37施設で実施した。	5	例年通り、貸館を実施した。		生涯学習推進課	
46	2-1-①	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家トレイルランニングコースの整備	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟氏監修によるトレイルランニングコースを定期的に整備する。	トレイルランニングコースの整備	・トレイルランニング全コース(4・8・12・30km)の整備点検を実施した。	5	・4月のコースオープン前と12月のコース閉鎖後に重点整備を行うと共に、オープン期間中は定期的に整備を実施できた。		・トレイルランニング全コース(4・8・12・30km)の整備点検を実施した。	5	・4月のコースオープン前と12月のコース閉鎖後に重点整備を行うと共に、オープン期間中は定期的に整備を実施できた。	令和7年度から事業縮小に伴いトレイルランニングコース閉鎖	環境共生課	
47	2-1-①	登山道の維持管理	南アルプス登山道の整備を行い、登山者の安全を確保する。	登山道の整備	①赤石岳ヘリピックアップポイント整備 ②茶臼岳登山道被災箇所復旧	5	①整備完了 ②台風被災箇所を応急対応し、山開き前までに登山可能な状態に復旧完了	登山道は倒木やザレ等、再整備を繰り返すため、常に同様な箇所の維持管理を要すことを理解する必要がある。	・茶臼岳登山道吊橋修繕 ・聖沢登山道崩落箇所復旧	5	・老朽化や災害により破損した登山道の工作物や、大雨により崩落した登山道の修繕を、夏山開き前までに完了できた。	登山道の修繕箇所を網羅的に調査し、段階的に修繕する必要がある。	環境共生課	
48	2-1-②	市内高校野球大会の開催	市内高校の競技力向上とチーム間の交流を深めることを目的に、トーナメント戦を開催する。	年1回開催	年1回開催	5	計画とおり実施できた。	令和5年度(第20回大会)で、補助金交付を終了。高野連を主体とした実施を検討している。	(廃止理由) 本市において、市の補助金で開催される、市内の高等学校のみを対象とした他競技の大会は実施しておらず、野球のみを実施する必要性は認められず、大会は20回開催され、本事業の当初の目的は達成されたと判断したことから、本事業を廃止した。			スポーツ振興課	1-1-①	
49	2-1-②	高校野球における静岡市・甲府市連携交流事業	静岡市・甲府市連携交流事業の一環として、両市の市立高校の交流試合を実施することにより、青少年の交流を深める。	年1回開催	年1回開催	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	年1回開催	5	計画通り実施できた。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備  
 施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり  
 基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策2の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全16件)	0	0	3	4	11

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
50	2-1-②	市民スポーツ大会の開催	年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう、様々な種目を競技するスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ普及や競技力向上を図る。	年30回以上開催(各競技1回以上) 延べ参加者数 40,000人以上	年27回開催 延べ参加者数33,764人	4	感染症の影響により一部の大会が中止となったが、概ね計画通り実施できた。	継続して実施していく。	29回開催 延べ参加者数31,745人	4	感染症の影響により一部の大会が中止となったが、概ね計画通り実施できた。(バス移動、宿泊のため、インフルエンザの流行を危惧し、スキー協会が中止決定)	継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤
51	2-2-②	ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進委員と共催でウォーキングイベントを開催する。	年2回開催 参加者数 400人以上	年1回開催 参加者数34人	3	清水区スポーツ推進委員会と3月にさくらウォークを開催した。	各区スポーツ推進委員と調整し、年2回開催を目指す。	年1回開催 参加者数100人	3	清水区スポーツ推進委員会と3月にさくらウォークを開催した。	各区スポーツ推進委員と調整し、年2回開催を目指す。	スポーツ振興課	1-1-⑤
52	2-1-②	蒲原ニューイヤークウォークの開催	蒲原市街地から富士川地区、由比地区を回る、蒲原ニューイヤークウォークを開催する。	年1回開催 参加者数 250人以上	荒天のため中止	3	荒天のため中止	コースの見直しを検討し、継続して実施していく。	年1回開催 参加者数 246人	4	計画通りに実施したが目標人数に僅かに届かなかった。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤
53	2-1-②	佐久市とのスポーツ親善交流事業	友好姉妹都市である佐久市の市民との交流スポーツイベントを開催する。	年1回開催 ※開催地は輪番制	年1回開催 (R5は佐久市で開催)	5	平成27年度以来、8年振りに佐久市で開催できた。婦人バレー、壮年ソフト、少年野球の3種目で開催した。	選手が参加しやすい環境を整え、継続して実施していく。	年1回開催 (R6は静岡市で開催)	5	婦人バレー、壮年ソフト、少年野球の3種目で開催した。	事業の規模、実施種目等を検討しつつ継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤
54	2-1-②	障がい者スポーツへの理解促進	障がい者スポーツを体験できる場を設けたスポーツイベントを開催することで、障がい者スポーツに親しむきっかけを作るとともに、誰もが楽しめるスポーツであることを知ってもらう。	年1回以上開催	年2回開催	5	・障がい者スポーツ体験 11月5日(日)に清水区チャレンジスポーツDAYにおいて、(社福)静岡市しみず社会福祉事業団みなとふれあいセンターと協働し、障がい者スポーツ体験を実施した。 ・障がい者との交流 11月30日(木)に第18回静岡県身体障害者フライングディスク大会にスポーツ推進委員を審判員等として派遣し、障がい者との交流を行った。	令和6年度から、障がい者スポーツ分野がスポーツ振興課に移管されたことにより、既存のスポーツ振興事業について、障がいのある方が参加できるよう、見直していく。	年2回開催	5	・障がい者スポーツ体験 6月16(日)、11月3日(日)に清水区チャレンジスポーツDAYにおいて、(社福)静岡市しみず社会福祉事業団みなとふれあいセンターと協働し、障がい者スポーツ体験を実施した。	令和6年度から、障がい者スポーツ分野がスポーツ振興課に移管されたことにより、既存のスポーツ振興事業について、障がいのある方が参加できるよう、見直していく。	スポーツ振興課	
55	2-1-②	市民ウォーキングの開催	市民ウォーキングを開催し、市民の健康増進や交流を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・田貫湖周辺コース約10km ・バスツアー形式 ・参加人数113人 ・静岡市山岳連盟と連携	5	・定員120人のところ申込人数は213人であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。		・1回開催 ・田貫湖周辺コース約10km ・バスツアー形式 ・参加人数110人 ・静岡市山岳連盟と連携	5	・定員120人のところ申込人数は275人であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。		静岡市スポーツ協会	1-1-⑤
56	2-1-②	スポーツ講演会の開催	著名なスポーツ選手や指導者を招き、スポーツをテーマとした講演会を開催することで、市民へのスポーツ普及や競技力向上、指導者の指導力向上等を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・講師 谷本道哉 氏 ・演題「1日たった5分! 簡単筋トレで健康ボディを手に入れよう」 ・聴講人数300人	5	・申込人数は404人で、来場率は例年並みの約74%であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。	スポーツをあまり行わない層にも講演会に足を運んでもらえるよう、講師の人選をしていきたい。	・1回開催 ・講師 福尾 誠 氏 ・演題「幼少期における運動の大切さ ~こどもたちの未来のためにできること~」 ・聴講人数417人	5	・対象を小学3年生までの子を持つ保護者に限定した。 ・申込人数は1,082人で、当選者の来場率は約91%であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。	様々な分野の講演会を実施し、幅広いニーズに届けていきたい。	静岡市スポーツ協会	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備  
 施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり  
 基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策2の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
57	2-2-①	スポーツ指導者スキルアップ講習会の開催	大学教員や医師、インストラクター等を招いて、スポーツ指導者を対象に基本的な指導方法や指導に対する心構えなどの習得を支援し、スポーツ指導者の資質向上を図る。	スポーツ指導者スキルアップ講習会 年6回開催	年6回開催(10月、11月) 延べ参加者156人	5	計画通り実施できた。	参加したくなる科目を検討し、継続して実施していく。	年6回開催(10月、11月) 延べ参加者201人	5	計画通り実施できた。	参加したくなる科目を検討し、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
58	2-2-①	学校プール監視員講習会の開催	学校等体育施設利用事業において、プールの正しい利用方法と、利用に際しての対応方法や知識を身につけるための講習会を実施する。	年1回実施	年1回開催(6月)	5	計画通り実施できた。	継続して実施していく。監視員証携帯の現地確認等を行いながら、引き続き安全にプールが利用できるよう支援を行っていく。	年1回開催(6月)	5	計画通り実施できた。	継続して実施していく。監視員証携帯の現地確認等を行いながら、引き続き安全にプールが利用できるよう支援を行っていく。	スポーツ振興課	
59	2-2-①	生涯学習施設でのスポーツ指導者を養成する講座の開催	生涯学習施設でスポーツ指導者を養成する講座を開催する。	年1講座以上の開催	年1講座実施。 修了人数5人	5	駿河生涯学習センター「運動でつながる～スキルを活かそう～」において、運動指導のスキルを持つが、それを活かす企画と機会のない人材向けに講座開催した。		年1講座開催。 修了人数5人	5	駿河生涯学習センター「運動でつながる～スキルを活かそう～」において、運動指導のスキルを持つが、それを活かす企画と機会のない人材向けに講座開催した。		生涯学習推進課	
60	2-2-①	体育・保健体育科の授業づくり研修会の実施	スポーツ庁主催の研修会に参加した教諭が講師となり、教員を対象に授業づくり研修会を実施する。全ての児童生徒が、体を動かす楽しさを味わい、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けることができるような体育・保健体育の指導の在り方を学ぶ。	課題改善および授業改善に向けた研修内容の設定	研修会の実施2回 参加者(満足度%) 小学校57名(満足度4.72) 中学校22名(満足度4.86)	4	・令和4年度と比較し、小・中学校ともに満足度が高まり、充実した研修会が行うことができた ・日程の関係もあり、参加人数が令和4年度より減ってしまった。	・体づくり運動・表現運動・柔道・保健と教員が指導に苦手意識を抱きやすい領域の研修会を開催する。 ・夏季に行うため、熱中症対策を万全にし、空調設備の整った会場で実施していきたい。	研修会の実施 2回 参加者(満足度%) 小学校57名(満足度4.77) 中学校28名(満足度4.78)	4	・小・中学校ともに満足度を維持し、充実した研修会が行うことができています。 ・中学校では、ニーズの高い柔道を実施したため、参加人数が令和5年度より増加している。	・体づくり運動・表現運動・柔道・保健と教員が指導に苦手意識を抱きやすい領域の研修会を開催する。 ・熱中症対策を万全にし、空調設備の整った会場で実施していく。	教育センター	1-1-①
61	2-2-②	ボランティア情報の提供	静岡市のホームページ等を活用して、スポーツ大会やイベント等のボランティア情報を提供する。	継続実施	イベント・大会ごと、ボランティアの募集を行った。	4	計画通り実施できた。	市として統合してスポーツボランティア情報を発信するHPを作成したい。	市HPにボランティア情報統合して掲載するページを作成した。	4	市HPにボランティアページを作成したことで、市内の情報だけでなく、全国・国際大会等のボランティア募集情報も掲載することができている。	引き続き、掲載を実施する。	スポーツ振興課	
62	2-2-②	バルちゃんクラブの活動支援	エスパルスの安定的な活動を下支えするため、エスパルスホームゲーム運営ボランティア「バルちゃんクラブ」の活動を支援する。	延べ900人以上活動	シーズンを通じて延べ1046人が活動した。	5	活動人数だけでなく登録団体数も6→12団体と増えており、ホームゲーム運営の支援が充実している。	近年、猛暑の中での活動になることが増えているため、スタッフの健康管理についてケアしていく必要がある。	シーズンを通じて延べ897人が活動した。	4	活動人数だけでなく登録団体数も11団体あり、ホームゲーム運営の支援が充実している。	近年、猛暑の中での活動になることが増えているため、スタッフの健康管理についてケアしていく必要がある。	スポーツ交流課	3-2-②
63	2-2-③	国際大会等出場報奨金	国際大会や国民体育大会への出場選手(市内在住、在学)が所属するスポーツ団体や学校に対して報奨金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	報奨金交付件数 15件	16件	5	計画通り実施できた。	申請件数が伸びるよう広く周知していく。	23件	5	計画通り実施できた。	申請をLoGoフォームでできるよう検討する。	スポーツ振興課	1-1-①
64	2-2-③	全国大会出場補助金	全国大会に出場する学生(市内在住、在学)に補助金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	補助金交付件数 150件	199件	5	計画通り実施できた。	申請件数が伸びるよう広く周知していく。	238件	5	計画通り実施できた。	申請をLoGoフォームでできるよう検討する。	スポーツ振興課	1-1-①
65	2-2-③	障害者スポーツ国際競技大会出場報奨金	障がい者スポーツの振興並びに障がい及び障がい者に対する市民の理解の促進を図るため、障がい者スポーツの国際競技大会に出場する者に対し、報奨金を交付する。	継続実施	・AMP FUTBOL CUPヴィシー2023 ・Virtusグローバルゲームズ ・第2回アジア太平洋ろう者フットサル選手権大会 ・第20回冬季デフリンピック ・杭州2022 アジアパラ競技大会 各々への参加選手に報奨金を交付した。	5	出場のあった選手に報奨金を交付することで、障がい者に対する市民の理解の促進に寄与した。				(廃止理由) No.63に統合したため。		スポーツ振興課	1-1-④
66	2-2-③	指導者マッチング制度の運用	指導者を探している団体等に対し、適切な指導者を検索し紹介する。	マッチング成功率70%以上	成功率100% (依頼1件中 成功1件)	5	・依頼は1件のみであったが、希望に沿った指導者を紹介することができ目標を達成した。		依頼なし	3	制度そのものに対する認知度が十分でない可能性がある。	ウェブサイト・SNS・広報紙等を活用した積極的な周知を行う。	静岡市スポーツ協会	2-2-①
67	2-2-③	ジュニア層育成補助事業	ジュニア層(小中学生)を対象とした種目別講習会等の開催に対して補助金を交付し、競技人口の拡大や技術力の向上を図る。	10種目以上実施	・10種目の実施(申請12種目) ・実施:山岳・水泳・バレーボール・スケート・バスケットボール・テニス・相撲・ラグビーフットボール・サッカー・空手道 ・中止:卓球・野球	5	・申請があった12種目の内、2種目が諸事情により中止となった。 ・各種目において実施目的を達成した。		・10種目の実施(申請11種目) ・実施:山岳・サッカー・水泳・相撲・ソフトテニス・テニス・バスケットボール・バレーボール・ラグビーフットボール・空手道 ・中止:野球	5	・申請があった11種目の内、1種目が諸事情により中止となった。 ・各種目において実施目的を達成した。		静岡市スポーツ協会	2-2-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備  
 施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり  
 基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策2の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
68	2-2-3	表彰式の開催	静岡市スポーツ協会の表彰規定に基づき、功労者、優秀指導者、優秀選手及び優秀団体を表彰する。	年1回以上実施	・1回開催 ・功労章 15名 ・優秀指導者章 30名 ・優秀選手章 20名	5	・永年にわたる、スポーツの普及・振興への貢献や国際大会での顕著な成績など、様々な面から静岡市のスポーツ文化の向上に寄与された方々を表彰した。		・1回開催 ・功労章 11名 ・優秀指導者章 28名 ・優秀選手章 25名 ・優秀団体章 1団体	5	・永年にわたる、スポーツの普及・振興への貢献や国際大会での顕著な成績など、様々な面から静岡市のスポーツ文化の向上に寄与された方々を表彰した。		静岡市スポーツ協会	2-2-①
69	2-2-3	スポーツクリニックの開催	プロや実業団チーム等がキャンプ合宿に来静した機会をとらえ、スポーツクリニックを開催し、少年少女への指導を実施する。	年1回以上開催	年1回の開催	5	東京羽田ヴィッキーズの協力により、バスケットボールクリニックを開催し、トップ選手から直接のアドバイスもらえる機会を創出した。	バスケットボールだけでなく、多種目のクリニック開催を検討。	年3回開催 参加者数: 77名	5	東京羽田ヴィッキーズ(バスケットボール)、ヴァンフォーレ甲府(サッカー)の協力により、クリニックを開催し、トップ選手から直接のアドバイスもらえる機会を創出できた。	バスケットボール、サッカーに限らず、卓球、バレーなど他種目での開催を検討	静岡市 まちづくり公社	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
70	3-1-①	全国少年少女サッカー大会の開催支援	全国少年少女サッカー大会の開催を支援するほか、大会参加者へ「サッカーのまち静岡」の情報を発信する。さらに、大会の開催を通じて、小学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深める。	市外からの参加者の割合80%	市外からの参加者割合82.8%	5	男女152チーム中、126チームが市外チームの参加となり目標を達成することが出来た。	令和6年度より8月に開催していた大会を熱中症になる選手・観戦者がいたため、体調面を考慮し大会開催日を12月に変更した。令和7年度以降の大会運営等について、今年度の大会開催状況を鑑み検討する必要がある。	市外からの参加者割合83.3%	5	補助金交付事務の円滑な実施、大会開催の支援について、滞りなく実施できた。大会参加者及び来場者数が実施目標を上回ることができた。	参加者への静岡市の観光案内や地域との交流を機会について検討し、参加者の満足度の向上や地域経済の活性化及び地域住民との交流の促進を図る。また、開催時期が年末及び日程によっては平日になるため、運営スタッフ、参加者の確保が難しい可能性があるため、運営体制について検討をする必要がある。	スポーツ交流課	1-1-①
71	3-1-①	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会の開催支援	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会に助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ「スポーツチャンバラ発祥の地 由比」の魅力発信する。大会の開催を通じて、誰もが楽しめる生涯スポーツとしてスポーツチャンバラの普及、啓発を図る。	大会参加者及び来場者数300人以上	大会参加者及び来場者数455人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、選手253人、保護者・役員等202人の計455人の参加があり、実施目標を達成できた。	一般財団法人地域活性化センターからの補助金が令和6年度実施事業までとなる。そのため、令和7年度以降の大会実施に向けて、自立した大会運営できるように、実行委員会へのアドバイス等のサポートを行っていく必要がある。	大会参加者及び来場者数400人	5	選手(223人)、保護者・役員等計約400人の参加があり、実施目標を達成できたが、前年と比較し、選手数が30人減少し、それに伴い保護者も減少したと考えられる。	一般財団法人地域活性化センターからの補助金が令和6年度事業までとなるため、令和7年度は取組事業から削除。	スポーツ交流課	1-1-①
72	3-1-①	静岡野球ウィークの開催支援	静岡野球ウィークに助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ静岡市の情報を発信する。大会の開催を通じて、中学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深めるほか、市民の野球熱向上を図る。	市内延べ宿泊者数2,500人以上	市内延べ宿泊者数3,200人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、市内延べ宿泊者数が目標を上回る事ができた。	令和6年度から、開催地が変更となるため、事業自体が令和5年度で終了する。	(廃止理由) 令和6年度から開催地が変更となるため。		スポーツ交流課	1-1-①		
73	3-1-①	全国大会等の開催支援	多くの来静者が見込まれる全国大会等が市内で開催される際に、会場や補助制度の紹介等の支援を行うほか、大会参加者、観戦者へ静岡市の情報発信を図る。	開催支援 随時実施	①第15回西日本古布軟式野球大会開催 ②日本知的障がい者バドミントン選手権大会	5	①補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、大会公式プログラムへ静岡市の名所の掲載、観光情報を大会参加者、観戦者へ配布することで静岡市の情報発信を図る事ができた。②大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。	令和6年度は、9月に全日本軟式野球大会(天皇杯)、12月にパラバドミントンの日本選手権が開催されるが、引き続き静岡市内で全国大会が開催されるように関係団体等と調整を図る必要がある。	①天皇賜杯第79回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメント開催(9月13日~18日) ②日本知的障がい者バドミントン選手権大会(6月29~30日) ③日本障がい者バドミントン選手権大会開催(12月14日~15日) ④全国高等学校定時制通信制体育大会第34回サッカー大会(8月2日~6日) ⑤清水CUP-JALみず杯第26回清水レディースカップサッカー大会(U15:7月6日・7日 U18:7月13日~15日) ⑥家康公記念杯第22回清水スーパーシニアサッカー大会(3月1日・2日)	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、大会公式プログラムへ静岡市の名所の掲載、観光情報を大会参加者、観戦者へ配布することで静岡市の情報発信を図る事ができた。	令和7年度はパラバドミントン国際大会の開催が予定されているが、令和7年度以降の継続開催に向けて、関係者及び関係機関と調整を進める必要がある。④令和7年度は初めて草薙総合運動場で開催される予定であるため、開催後に従来の会場との比較・検討を行う必要がある。④・⑤真夏の開催となるため、熱中症対策や雷への安全対策など、天候リスクへの十分な備えが必要である。④・⑤・⑥市民への大会開催情報の周知及び来静者への静岡市の情報発信を積極的に行う必要がある。	スポーツ交流課	1-1-⑤	
74	3-1-①	静岡マラソンの開催支援	地域経済の活性化及び市民のスポーツ振興やまちづくりの推進を図る。	国外・県外エントリー率55% (フルマラソンの定員数(12,000人)の55%は6,600人)	静岡マラソン2024大会 開催日 令和6年3月10日 フルマラソン参加者割合 全体 12,006人 県外(海外含む) 7,086人(59.0%) 海外 658人(5.5%)	4	コロナ禍を経て、2019大会以来5年ぶりに2024大会を開催した。今後は、県内は新聞、テレビ等のマスメディアによりランナー以外の市民も含めて広く周知するとともに、県外・国外はSNSや雑誌などによりランナーに的を絞って効果的な情報発信に取り組み、参加者増加を図る。また、2024大会での参加者やスタッフ等関係者の声を基に改善し、本市の魅力を活かした大会にしていく。	静岡マラソン2025大会 開催日 令和7年3月9日 フルマラソン参加者割合 全体 12,876人 県外(海外含む) 7,520人(58.4%) 海外 439人(3.4%)	2025大会のフルマラソンの県外(海外含む)参加者7,520人は全体参加者の12,876人の58.4%であり、目標値を上回る結果であったため達成度を5とした。	ランナー以外の市民には、交通規制に関する理解を得られるような周知を徹底する。ランナーへは様々な媒体(新聞、テレビ、SNS、雑誌等)を使用し定員に確実に達するような情報発信を行う。また、大会関係者の声を基に、大会運営を改善し、ランナーが前泊するような本市の魅力を活かした大会にしていく。	スポーツ交流課	1-1-⑤		

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
75	3-1-①	清水マリーンフェスティバルの開催支援	清水マリーンフェスティバルに助成し、開催を支援することで、海洋スポーツの振興及び普及を図る。	大会参加者及び来場者数 1,200人以上	開催日 令和5年7月16日 大会参加者及び来場者数 1,600人	5	コロナ禍を経て、4年ぶりの開催となったが、補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。 また、大会参加者及び来場者数が実施目標を上回ることができた。	大会が成功した一方で、使用するレガッタの老朽化や台船、運搬トラック等の賃借料の高騰、大会を運営する担い手や参加チームの減少などの問題点が明らかになった。大会継続可否も含めた運営体制を実行委員会にて検討していく必要がある。	開催日 令和6年7月21日 大会参加者及び来場者数 1,600人	5	補助金交付事務の円滑な実施、大会開催の支援について、滞りなく実施できた。 大会参加者及び来場者数が実施目標を上回ることができた。	令和7年度から三保内浜での開催となり、当イベントの規模や実施内容も変わってくると予測される。実行委員会の担い手不足という問題がある中で、新しい開催地での運営について、実行委員会と検討する必要がある。	スポーツ交流課	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
76	3-1-①	合宿の誘致及び受入	主に国内における各種競技のトップチームを対象として、合宿の誘致活動の実施及び受入時の支援をすることで、継続的な合宿の受入を目指すとともに、地域経済の活性化を図る。	合宿受入件数 年3件以上	合宿受入件数 年3回	5	成果指標の、国内代表クラスの合宿受入件数は1件となったが、国外から台湾陸上代表チーム、アメリカアーティスティックスイミングの代表チームが合宿を行ったため、合宿受け入れ件数としては目標を達成した。	代表クラスの合宿の誘致は継続して行っていくが、それ以外の合宿受け入れについて、静岡県スポーツコミッション担当室や、施設の優先予約について市内各施設と連携し誘致を推進していく必要がある。	合宿受入件数年2回	4	成果指標の国内代表クラスの合宿受け入れ件数が、昨年度の1件から女子車いすバスケ日本代表とウエイトリフティング男子日本代表の2件となり、目標値に達することができなかったが、昨年度1件のみだった国内代表クラスの合宿を増加させることができた。	代表クラスの合宿は注目度が高く、市内開催となると市民の関心が高まり、スポーツ文化の醸成を見込めるため、代表クラスの合宿受入をさらに増やしていきたい、それ以外の合宿受入については、使用施設と調整し、誘致を推進していく。	スポーツ交流課	なし
77	3-1-②	台湾陸上協会との交流事業	台湾陸上協会と代表チーム合宿受入及び青少年相互派遣交流を実施し、選手の競技力や指導者の資質の向上を図る。また、スポーツを通じ異文化への理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する。	青少年相互派遣の実施 代表チーム合宿の実施	・台湾陸上協会代表選手合宿受入 受入期間:令和5年5月29日～6月18日 受入人数:28人(選手17人、コーチ等11人) ・台湾陸上協会との青少年交流事業 派遣期間:令和5年10月31日～11月4日 派遣人数:13人(コーチ2人、選手10人、市職員1人) ・台北マラソン交流 日程:令和5年12月15日～18日 訪台者:静岡市訪問団 35名	5	・台湾陸上協会代表選手合宿受入に伴い、トップアスリートの練習の見学や直接指導を受けたことにより、選手の競技力や指導者の資質の向上を図ることができた。 ・静岡市が派遣した高校生が、陸上競技だけでなく現地高校性と交流し、台湾文化への興味・関心を高める事ができた。 ・台北マラソン交流により、静岡市と台北市の更なる友好を深めることができた。	「静岡市及び台北市スポーツ交流に関する覚書」の有効期限が令和6年(2024年)まで、「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」が令和7年(2025年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和7年度以降の取組みに反映する必要がある。	①台湾陸上協会との青少年交流事業 【台湾選手団受入】 受入期間:令和6年9月26日～9月30日 受入人数:13人(コーチ・引率5人、選手8人) 【静岡選手団派遣】 派遣期間:令和6年11月4日～11月8日 派遣人数:13人(コーチ2人、選手10人、市職員1人) ②令和6年度は相手方の都合により台湾陸上協会代表選手合宿の受入は実施できなかった。	3	①青少年交流は受入、派遣ともに実施できたが、②代表チームの合宿は実施できなかったため、達成度を3とした。	台湾陸上協会代表チームの合宿受入をおこなっているが、相手方の都合で実施不可の年度もあるため、継続して合宿受入ができるよう他の世代の合宿の受入を視野にいれ、覚書の内容の見直しを行う必要がある。	スポーツ交流課	2-2-③
77	3-1-②	台北市スポーツ交流事業	台北市とスポーツ交流を通じて、本市と台北市の交流人口の拡大を図る。	両市で開催されるスポーツ大会やイベントへの派遣・受入の実施	・台北マラソン交流 日程:令和5年12月15日～18日 訪台者:静岡市訪問団 35名	5	・台北マラソン交流により、静岡市と台北市の更なる友好を深めることができた。	「静岡市及び台北市スポーツ交流に関する覚書」の有効期限が令和6年(2024年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和7年度以降の取組みに反映する必要がある。	①台北マラソン(派遣) ・日程 令和6年12月13日～16日 ・訪台者 6名 ②台北市高校生バスケット交流(受入) ・受入期間 令和7年3月21日～24日 ・受入人数 選手12名 指導者3名	5	①台北マラソンへ派遣することができた。 ②受入は実施できたが、静岡市の高校生を派遣することはできなかった。	①台北マラソンで、静岡市をPRする機会ができていないため情報発信ができるよう、台北市体育局や観光政策課等と調整する必要がある。 ②学生間の親善交流試合について、令和7年度中に台北市と交流事業の計画を策定する必要がある。	スポーツ交流課	2-2-③
78	3-1-②	ホストタウン相手国・地域等のトップアスリートとの交流	ホストタウン相手国・地域等のトップアスリートとの交流事業を通して、スポーツへの関心の向上を図る。	合宿受入れ時に練習見学会等の交流事業を実施	静岡市内で合宿中の台湾陸上協会代表選手による「走り方教室」の実施 開催日:令和5年6月16日 参加者:選手6人 清沢小学校児童15人	5	清沢小学校の体力テスト前日に選手から専門的なアドバイスを受けたことにより、児童のスポーツに対する関心が高まった。	「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」が令和7年(2025年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和8年度以降の取組みに反映する必要がある。	(廃止理由) No.77に統合したため。	スポーツ交流課	1-1-①			

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	0	1	3

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
79	3-1-③	葵区魅力づくり事業 (スポーツイベントの開催支援)	地域が主体となり実施するスポーツイベントなどの開催を支援することで、市内外の参加者に葵区の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	地域の要請に応じて実施 (年3回実施)		5	申請ベースでの取組のため、スポーツイベントの開催支援は、健康卓球教室1件のみとなったが、スポーツを楽しめる地域交流拠点の整備を実施したほか、葵区自治会連合会の視察研修において、先進事例の視察をおこなうなど、機運醸成に向けた取組を実施したことは、一定の評価ができる。	新規イベント開催に向け、自治会連合会への周知等、当課からアプローチしていく。	・わらびこ卓球教室 1回 ・清水エスパルスホームゲームにおける葵区魅力発信ブース出展 1回 ・静岡ジェードホームゲームにおける葵区魅力発信ブース出展 1回	5	地域からの申請による取組はわらびこ卓球教室の1回のみとなってしまったが、ホームタウンチームの試合においてブース出展して積極的に葵区魅力を発信したことは一定の評価ができる。	自治会役員の高齢化や担い手不足によって、地域主導によるイベントの開催は難しくなっているため、地域総務課が積極的に支援していく必要がある。	葵区役所 地域総務課	1-2-②
80	3-1-③	井川ならではの自然環境を活かした主催事業	井川ならではの自然環境を活かしたキャンプやハイキング、トレイルランニング、スキー教室などを開催し、四季を通じて参加者がスポーツに慣れ親しむ機会を提供する。	応募率100% 年間7回以上実施		5	トム・ソーヤ事業を中心に応募が多数集まり、天候や交通状況による主催事業の中止もなかったため、目標値を上回った。		・応募率 141%(参加者686名) ・年間17回計画 16回実施 トム・ソーヤ ビギナーキャンプ トム・ソーヤ チャレンジキャンプ トム・ソーヤ オータムキャンプ トム・ソーヤ あきのこにこキャンプ トム・ソーヤ スキーキャンプ トム・ソーヤ ウィンターキャンプ 井川deアウトドアクッキング入門 井川deファミリーサマーキャンプ 井川deおやつ作り&ハイキング 井川deファミリーオータムキャンプ 井川deトレラン&夏体験(中止) 井川de冬満喫の旅 井川deスキー&雪遊びI 井川deスキー&雪遊びII	5	トム・ソーヤ事業を中心に応募が多数集まり、目標値を上回った。	令和7年度から事業縮小に伴い主催事業廃止	環境共生課	
81	3-1-③	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家トレイルランニングコースの活用推進	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟氏監修によるトレイルランニングコースの活用を推進する。	コースを活用した主催事業の実施及びコースの一般開放		5	・トレイルランニングコースを活用した主催事業を日帰り開催にしたことで、応募が多数集まった。 ・整備を定期的に行なったことで、冬季期間以外はコースの一般開放ができた。		・主催事業「井川deトレラン&夏体験」の計画 ・4月~11月のトレイルランニングコース開放(4・8km) ・5月~10月のトレイルランニングコース開放(12・30km)	5	・主催事業「井川deトレラン&夏体験」はクマ出没により中止・整備を定期的に行なったことで、冬季期間以外はコースの一般開放ができた。	令和7年度から事業縮小に伴い主催事業廃止	環境共生課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	0	1	3	8

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
82	3-1-③	和田島の自然環境を活かした主催事業	夏の和田島ならではの自然環境を活かした沢登り、ハイキングなどに慣れ親しむ機会を提供する。	応募率100% 年間1回以上実施	(廃止理由) 和田島自然の家の閉鎖及び教育総務課管轄からの除外により、和田島での主催事業を廃止したため。								教育総務課 (南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家)	
83	3-1-③	オクシズスポーツツーリズム促進事業	オクシズの地形や地域資源を活用したスポーツイベントなどの開催を支援することにより、広く市内外に向けて中山間地域の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	参加者数(交流人口) 650人/年	両河内ロゲイニング74人 両河内バイオロゲイニング25人 水見色トレラン29人 井川マウンテンマラソン185人 大会参加者 計 313人	3	従前の規模での大会開催には至らなかったが、補助金交付により前年度よりバイオロゲイニング1回、トレラン1回を多く実施できた。	参加人数を増やすため、スポーツや中山間地を志向する層に効果的に周知できるよう、チラシの設置場所や広報媒体を増やす。	両河内ロゲイニング64人 両河内バイオロゲイニング57人 水見色トレラン60人 井川マウンテンマラソン118人 大会参加者 計299人	3	・コースの再検討やアプリの導入等、地域の魅力発信や運営の効率化等に係る各実行委員会の運営改善が見られた。	・各実行委員会で持っている情報発信ツールが限られているため、市が運営するSNSツール等を活用して、スポーツや中山間地を志向する層へ効果的に広く周知できるよう支援する。	中山間地振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全24件)	0	0	3	2	19

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
84	3-2-①	大学野球オースタム フレッシュリーグin静岡	市民野球熱の醸成に向け、東京六大学野球等国内トップレベルのプレーを市民が間近で観ることができ、また地元大学・高校の野球部との交流試合や、子どもたちへの野球教室の開催等を行う大会の開催を支援する。	年1回開催	・開催日11/24~26(3日間) ・参加校(大学12校、高校5校) ・来場者数 草薙球場:2205人 ちゅ〜るスタ:1242人 西ヶ谷球場:1026人	5	来場者数が昨年度よりも増加した。例年行っている地域活性化活動に加え、今大会から新たに学生の人材育成というテーマも取り入れており、年々、魅力的な大会が実施できている。	大会が自走していけるよう実行委員会に「安定した運営に必要な収入の確保」を働きかけていく。	・開催日11/15~17(3日間) ・参加(大学12校、高校5校) ・来場者数 草薙球場:2214人 ちゅ〜るスタ:1271人 西ヶ谷球場:551人	5	来場者数が昨年度より若干減少したが、例年取り組んでいる野球教室等の地域活性化活動に加え、球場内外での魅力的なイベント等を企画・実施しており、年々、魅力的な大会が実施できている。	大会が自走していけるよう実行委員会に「安定した運営に必要な収入の確保」を働きかけていく。	スポーツ交流課	3-1-②
85	3-2-①	プロ野球地元球団創設構想の 推進	将来的なプロ野球地元球団の創設に向け、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の開催支援等を行う。	プロ野球公式戦・オープン戦開催支援1回以上	令和6年3月9日~13日にプロ野球楽天イーグルスのオープン戦全3試合の広報紙への掲載や、市所管施設へのポスター等の配布を行った。	5	開催期間中土日の試合で、小学生招待企画も実施し、地域の子どもたちに野球に興味を持ってもらうような取組も行うことができた。	市民野球熱の醸成に向け、新たに創設されたプロ野球球団「くふうハヤデベンチャーズ静岡」をはじめ、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の広報支援等を継続していく。	令和7年3月8日~12日にプロ野球楽天イーグルスのオープン戦全4試合の広報紙への掲載や、市所管施設へのポスター等の配布を行った。	5	開催期間中土日の試合で、小学生招待企画や選手ふれあいイベントも実施し、地域の子どもたちに野球に興味を持ってもらうような取組も行うことができた。	市民野球熱の醸成に向け、新たに創設されたプロ野球球団「くふうハヤデベンチャーズ静岡」をはじめ、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の広報支援等を継続していく。	スポーツ交流課	3-1-②
86	3-2-①	清水日本平運動公園球技場 ネーミングライツパートナー企業による地域貢献活動	清水日本平運動公園球技場のネーミングライツパートナー企業が、当該契約に基づく球技場無償使用权を利用した地域貢献活動(児童を対象としたサッカー大会の開催支援等)を実施する。	年3回実施	年3回実施	5	第37回 全国少年少女草サッカー大会 大会、第9回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会、IAIカップ静岡県チャイルドサッカー大会in日本平の3回実施したことで目標を達成することができた。	各大会主催者とネーミングライツパートナー企業との使用に関する調整を継続して行っていく。	年3回実施	5	第38回 全国少年少女草サッカー大会 大会、第10回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会、IAIカップ静岡県チャイルドサッカー大会in日本平の3回実施したことで目標を達成することができた。	熱中症対策等による大会開催時期の変更注意到意しながら、各大会主催者とネーミングライツパートナー企業との使用に関する調整を継続して行っていく。	スポーツ交流課	1-1-①
87	3-2-①	清水日本平運動公園球技場交通問題等対策協議会の開催	エスパルスの安定的な活動を下支えするため、エスパルスホームゲーム開催時のIAIスタジアム日本平周辺の交通問題について、関係者が議論する協議会を開催する。	年1回開催	年1回開催 令和5年2月9日(木)	5	地元自治会の方々と、課題について協議できたことは評価できる。	同協議会の場だけでなく日ごろから周辺住民の声を聴き、スタジアム周辺の交通問題の解消に取り組んでいく。	年1回開催 令和7年1月30日(木)	5	地元自治会の方々と、課題について協議できたことは評価できる。	同協議会の場だけでなく日ごろから周辺住民の声を聴き、スタジアム周辺の交通問題の解消に取り組んでいく。	スポーツ交流課	2-1-①
88	3-2-①	静岡市サッカー祭り	サッカーの魅力発信や、「まちは劇場」の推進に向け、静岡市サッカー協会とともに、フリースタイルフットボールコンテスト等を行うイベントを開催する。	年1回開催	年1回開催 令和5年10月21日(土) JR 東静岡駅北口広場で開催	5	エスパルスパブリックビューイングとの同時開催により多くの来場者を迎えることができた。	市サッカー協会に協力し、サッカーの普及・PRを通じてサッカーのまちづくりを推進していく。	年1回開催 令和7年1月11日(土) 清水マリンパークで開催	5	2025シーズン必勝祈願開催支援事業との同時開催により多くの来場者を迎えることができた。	市サッカー協会に協力し、サッカーの普及・PRを通じてサッカーのまちづくりを推進していく。	スポーツ交流課	2-1-②
89	3-2-①	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	日本サッカー協会と連携し、サッカーをはじめとした様々な競技のトップアスリートを講師として、市内の小学生に対し、夢に向かって努力することの大切さを伝える特別授業を実施する。	年6クラス以上実施	市内小学校6校で実施 延べ参加人数190人	5	市内6校の生徒に、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを子どもたちに伝えることができた。	より多くの子ども達に提供できるよう実施クラスの選定方法やPR方法について検討していく。	市内小学校6校で実施 延べ参加人数190人	5	市内6校の生徒に、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを子どもたちに伝えることができた。	R7年度からは市内の子どもたちにより身近なホームタウンチームの選手・スタッフ等を講師に迎え、同様の授業を行っていく。	スポーツ交流課	
90	3-2-①	サッカー日本代表 応援事業	「サッカーのまち」と称される本市において、国内サッカーの最高峰である日本代表チームを積極的に応援する各種事業を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し実施する。	【ワールドカップ等大規模大会開催年】 年1回以上開催	FIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニューゼaland2023において日本代表応援写真展実施 ① 令和5年7月13日(木)~8月2日(水)静岡庁舎1階新館ロビー ② 令和5年8月2日(水)~8月20日(日)清水ナショナルトレーニングセンター	5	大会開催期間に合わせて、静岡庁舎及び清水ナショナルトレーニングセンターの2か所で実施できた。	大規模大会開催時に使用する、応援パネルの作成にあたり、日本サッカー協会と連携しデータの取得等を行っていく。	2024 年パリオリンピック競技大会の日本代表応援写真展 ①7月17日(水)~8月7日(水)U-23男子日本代表、なでしこジャパン 9月2日(月)~9月11日(水)ブラインドサッカー ②清水ナショナルトレーニングセンター 9月12日(木)~12月2日(月)	5	大会開催期間に合わせて、静岡庁舎及び清水ナショナルトレーニングセンターの2か所で実施できた。	効果的な時期に事業実施できるよう、大規模大会開催時に使用する、応援パネルの作成にあたり、日本サッカー協会と連携しデータの取得等を行っていく。	スポーツ交流課	
91	3-2-②	ホームタウンチームと 連携したスポーツ教室	子どもの健全育成や、各チームの応援機運醸成に向け、各チームの選手・コーチによるサッカー、バスケ、テニス等の技術指導や交流事業を行うスポーツ教室を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し開催する。	年2回以上開催	年1回開催 令和5年7月17日(月祝) 静岡市中央体育館	3	目標の年2回の開催は達成できなかったが、エスパルス、バルテックスと連携し参加者がサッカー、バスケの2種目を体験することができ、子供たちがホームタウンチームとの関わりを持つことができた。	ホームタウンチーム8チームでの実施を計画する中で、チームのシーズン期間が異なるため、選手派遣が可能な時期等を考慮した開催時期の検討が必要となる。	年1回開催 令和6年6月23日(日) 静岡市中央体育館	3	目標の年2回の開催は達成できなかったが、ホームタウンチーム計7チームと連携し参加者が3種目を体験することができ、子供たちがホームタウンチームとの関わりを持つことができた。	年2回の実施に向け、ホームタウンチーム全8チームの講師派遣が可能な開催時期等の考慮が必要のため、早期に開催時期の調整を行う。	スポーツ交流課	1-1-①
92	3-2-②	巡回スポーツ教室	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園等の園児に対して、エスパルスクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った簡単な運動等を通して、身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えるスポーツ教室の開催を支援する。	年120園以上開催 延べ参加者数 3,000人以上	142 園(市内の公・私保育園及び公・私幼稚園) (葵区50 園・駿河区36 園・清水区55 園) 参加者:3,609 人(園児)	5	目標の年120園以上開催延べ参加者数 3,000人以上を達成した。	申込開始を可能な限り早期に行い、5月下旬の事業開始時期を早め、実施期間にゆとりを持たせられるよう調整していく。	126 園(市内の公・私保育園及び公・私幼稚園) (葵区48 園・駿河区36 園・清水区42 園) 参加者:3,280 人(園児)	5	目標の年120園以上開催延べ参加者数 3,000人以上を達成した。	多数の開催が見込まれるため、引き続き申込開始を可能な限り早期に行い、実施期間にゆとりを持たせられるよう調整していく。	スポーツ交流課	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全24件)	0	0	3	2	19

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
93	3-2-②	エスパルス アウェイゲーム パブリックビューイング	エスパルス観戦機会の創出や、「まち劇場」の推進に向け、清水駅前や東静岡駅前等の広場で、エスパルスアウェイゲームのパブリックビューイングを開催する。	年1回開催 参加者数 1,000人以上	年1回開催 令和5年10月21日(土) JR東静岡北口広場 来場者数2,325人	5	実施目標である1,000人以上を達成した。	試合観戦だけでなく、ほかに楽しめるコンテンツの同時開催の検討。より多くの人に周知するため、市の広報紙、SNS等に加え、FMHiやマリノパル(コミュニティFM)、民間情報誌(リビング静岡)等を活用し、広域に告知を展開していく。	年1回開催 令和6年10月27日(日) 清水マリノターミナル 来場者数1,300人	5	実施目標である1,000人以上を達成した。	施設周辺の他イベントの開催状況によっては、近隣駐車場の混雑が予想されるため、入場開始時間を検討する必要がある。	スポーツ交流課	2-1-②
94	3-2-②	指導者講習会	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園の保育士等に対して、エスパルススクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った運動方法を教授する講習会の開催を支援する。	年1回以上開催 参加者数 10人以上	年2回開催 6月27日、7月21日 延べ参加人数 19人	5	実施目標の年1回以上開催及び参加者数10人以上を達成した。	こども園の保育士等の出席しやすい日程で行えるように、エスパルスと検討を行っていく。	年1回開催 11月22日 延べ参加人数 6人	3	実施目標の参加者数10人以上は達成できなかったが、こども園の保育士等に対しての講演会については、年1回以上開催を達成した。	こども園の保育士等の出席しやすい日程で行えるように、エスパルスと検討を行っていく。	スポーツ交流課	2-2-①
95	3-2-②	エスパルス 地域交流応援事業	市民のエスパルス応援機運の醸成や、地域コミュニティの向上等に向け、エスパルスホームゲーム観戦企画の実施を支援する。	延べ2,100人以上来場	8/12 vs 山口 (バス1台・参加者11名) 8/19 vs 町田 (バス2台・参加者45名) 9/3 vs 徳島ヴォルティス戦は募集最低人数に達しなかったため中止	2	改正旅行業法への対応や協力相手である自治会・町内会の負担軽減などに配慮し、バスツアーの申込方法を「個人単位」とし、区ごとに優待日を設け実施した結果、参加人数が集まらなかった。	エスパルスと連携し実施方法を根本的に見直すことで、より多くの市民交流が行えるような事業形態を検討していく。	5/11 vs 鹿児島 5/26 vs 水戸 6/30 vs 岡山 計 1,526人参加	3	申込件数2,100人は超えていたが、来場数が1,526人に減少した。	申込件数と来場者数に差が生まれないよう協議していく。	スポーツ交流課	3-2-①
96	3-2-②	エスパルス 教育サポート事業 「エスプラス」	エスパルスや静岡大学・市内企業と協働した静岡版の魅力ある授業づくりを推進し、子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、エスパルスや地域への愛着醸成を図るための特別授業を実施する。	年10校以上開催 延べ参加者数 500人以上	年15校で実施 延べ参加者数 1,406人	5	目標の年10校以上開催及び延べ参加者数500人以上を達成した。	エスパルス、市内企業と連携し、更なる内容の充実を図れるように協議していく。	年10校で実施。 延べ参加者数 1,020人	5	目標の年10校以上開催及び延べ参加者数500人以上を達成した。	エスパルス、市内企業と連携し、更なる内容の充実を図れるように協議していく。	スポーツ交流課	3-2-①
97	3-2-②	エスパルス オリジナルベビースタイ配布 事業	エスパルスをきっかけとした子育て支援の推進に向け、市内で出生した赤ちゃんへのエスパルスオリジナルベビースタイの配布をする。	ベビースタイ配布 5,000枚以上	エスパルスオリジナルベビースタイを静岡市保健福祉センターと静岡助産師会及び清庵助産師会に5,200枚配布	5	目標の5,000枚以上配布できたことで、官民連携・地域ぐるみで子育てを支援することが図られた。	申込開始を早めることで、実施期間にゆとりを持たせられるようエスパルスと調整していく。	エスパルスオリジナルベビースタイを静岡市保健福祉センターと静岡助産師会及び清庵助産師会に5,200枚配布	5	目標の5,000枚以上配布できたことで、官民連携・地域ぐるみで子育てを支援することが図られた。	申込開始を早めることで、実施期間にゆとりを持たせられるようエスパルスとの調整を継続して行っていく。	スポーツ交流課	3-2-①
98	3-2-②	エスパルスを活用した 各種PR活動	庁内各課の施策・事業について、エスパルスホームゲームにおける大型電光掲示板での放映やブース出展等でPRを行う。また、エスパルス選手写真・ロゴ等を庁内各課の啓発ポスター・チラシ等に使用しPRを行う。	40件以上活動	活動実績 45件	5	目標としている活動件数を上回ったほか、エスパルスホームゲームへの来場者数も1試合あたり14,000人以上であったことから、PR効果が高かった。	PRコンテンツが固定化してきているため、新たに連携できそうな庁内各課等の事業を掘り起こしていく。	活動実績 44件	5	目標としている活動件数を上回ったほか、エスパルスホームゲームへの来場者数も1試合あたり17,000人以上であったことから、PR効果が高かった。	出展したブースや放映する映像により多くの来場者に関心を持ってもらうため、効果的な内容を検討していく。	スポーツ交流課	3-2-①
99	3-2-②	フォッサ・サッカーのまち市民 協議会活動支援	サッカーを活かしたまちづくりや、ホームタウンチームを組織的に支援する「フォッサ・サッカーのまち市民協議会」の活動を支援する。	PRイベント 年1回開催 啓発品 年1品目作成	PRイベント オレンジスポーツフィールド 1回開催(来場者5,000人) 啓発品 トートバック(700個)作成	5	PRイベントをエスパルスの出陣式と連携して同時開催したことで、多くの市民にホームタウンチームのPRができた。	ホームタウンチームが増えてきている状況の中、各チームとの更なる連携調整が必要となる。	PRイベント オレンジスポーツフィールド 1回開催(来場者4,500人) 啓発品 トートバック(400個)作成	5	PRイベントをエスパルスの出陣式と連携して同時開催したことで、多くの市民にホームタウンチームのPRができた。	ホームタウンチームが増えてきている状況の中、各チームとの更なる連携調整が必要となる。	スポーツ交流課	3-2-①
100	3-2-②	エスパルス ホームゲームへの 市内小中学生招待事業	エスパルス観戦機会の創出や、子どもの健全育成に向け、市内の全小中学生を対象としたエスパルスホームゲームへの招待事業の実施を支援する。	延べ800人以上 来場	年2回実施 延べ来場者数 1,283人	5	目標の延べ800人以上を達成した。	小中学生の参加者を増やせるようPR時期や周知方法をエスパルスと協議していく	年4回実施 延べ来場者数 3,710人	5	目標の延べ800人以上を達成した。	多くの小中学生の参加できるようPR時期や周知方法をエスパルスと協議していく。	スポーツ交流課	
101	3-2-②	ホームタウンチーム選手・マス コット等の市事業・イベントへの 派遣	エスパルスをきっかけとした賑わい創出やコミュニティ機能の向上、ホームタウンチームに触れる機会の創出に向け、市事業・イベントに、ホームタウンチームの選手やコーチ、マスコット、チアリーダー等を派遣する。	年25回以上派遣	・選手等派遣事業 9回 ・親子運動教室 12回 ・キッズパーク 2回 ・わくわくバスケット 2回	5	庁内各課等が行う幅広い分野の事業に選手等の派遣を行ったほか、子どもたちを対象とした普及活動によりホームタウンチームに触れる機会を創出した。	既存チームの派遣を引き続き取り組んでいくとともに、新しいチームについても同様の取り組みができるようチームと協議していく。	・選手等派遣事業 8回 ・親子運動教室 12回	4	庁内各課等が行う幅広い分野の事業に選手等の派遣を行ったほか、子どもたちを対象とした普及活動によりホームタウンチームに触れる機会を創出した。	既存チームの派遣を引き続き取り組んでいくとともに、新しいチームについても同様の取り組みができるようチームとの協議を継続して行っていく。	スポーツ交流課	
102	3-2-②	ホームタウンチーム 活用推進事業	エスパルスをはじめとするホームタウンチームの発信力・求心力を活かし、市とクラブの提携によってスポーツの力で地域の課題解決等を推進する。	年1事業以上実施	ホームゲーム活用事業として、9月3日にエスパルス、12月9、10日にベルテックスのホームゲームで両チームのコラボタオルの配布と併せて市の魅力PRを実施した。	5	目標の1事業以上実施でき、各チームのホームゲームでは、来場者(約1万7千人)に対し、市の魅力をPRできたことは評価できる。	現在の形態にとらわれず、より効果的な方法を検討し実施していく。	市役所静岡庁舎1階に設置している既存のエスパルスホームタウンコーナーをリニューアルし、全チームのユニフォームや、活動動画を展示した。	5	本市の全ホームタウンチームの展示を行うことで、地域への各チームの認知度向上や、地域への愛着の醸成に繋がった。	展示が一定期間同じ内容にならないよう、定期的に内容の更新を行い、常に来場者の興味・関心を引くような展示が出来るような工夫が必要となる。	スポーツ交流課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全24件)	0	0	3	2	19

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
103	3-2-②	オレンジ化推進事業	まちなかの賑わい創出や、エスパルスに触れる機会の創出に向け、エスパルスやベルテックスのチームカラーであるオレンジ色のバナーやフラッグ、横断幕等を駅前や商店街、市庁舎等に掲出する。	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	5	駅前という市の玄関口にバナーを掲出しており、市内外の多くの市民にスポーツのまちをPRできている。	まちなかでのバナー等の掲出は非常に効果が高いことから引き続き実施していく。	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	5	駅前という市の玄関口にバナーを掲出しており、市内外の多くの市民にスポーツのまちをPRできている。	まちなかでのバナー等の掲出は非常に効果が高いことから引き続き実施していく。	スポーツ交流課	
104	3-2-②	エスパルスホームタウンコーナーの設置	エスパルスに関する情報を広く発信するため、各区役所に専用コーナーを設け、エスパルスの関連情報の掲出やグッズ等を展示する。	常設3ヶ所設置	葵・駿河・清水の各区役所にそれぞれ1か所設置した。	5	各コーナーでは、試合結果だけでなく、各チームと地域・行政との連携事業等についても情報発信しており、市民のチームに対する愛着増進に寄与していると考えられる。	ホームタウンチームが増えているため、すべてのチームを対象としたホームタウンコーナーとして更新していく。	葵・駿河・清水の各区役所にそれぞれ1か所設置した。葵区のホームタウンコーナーをすべてのチームを対象としたホームタウンコーナーとしてリニューアルした。	5	各コーナーでは、試合結果だけでなく、各チームと地域・行政との連携事業等についても情報発信しており、市民のチームに対する愛着増進に寄与していると考えられる。	すべてのチームの情報をより多くの市民に関心を持って見てもらえるよう、リニューアルしたコーナーにおける情報発信の内容を検討していく。	スポーツ交流課	
105	3-2-②	民間教育力活用事業へのホームタウンチームの協力	依頼のあった学校に民間教育力活用事業の登録講師である清水エスパルスやベルテックス静岡の選手・コーチ等を派遣して、学習の充実を図る。	学校の要請に応じて実施	令和5年9月29日と令和5年11月21日の2回、ベルテックス静岡へ民間教育力活用事業の登録講師の派遣を要請した。	5	学校の要請に応じて実施した。学校の要望する内容に沿い、講話を行い、学習の充実を図った。	より多くの学校が講師派遣を活用できるよう学校への周知を行う。	令和6年9月10日、令和7年1月23日の2回、ベルテックス静岡へ民間教育力活用事業の登録講師の派遣を要請した。	5	学校の要請に応じて実施した。学校の要望する内容に沿い、講話を行い、学習の充実を図った。	より多くの学校が講師派遣を活用できるよう学校への周知を行う。	学校教育課	
106	3-2-②	プロスポーツチーム等連携プロジェクト	企業版ふるさと納税を活用し、本市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携し、スポーツが持つ力により、誰もが健康で心が満たされるまちづくりを推進する。	継続実施	・静岡ジェードへのスタートアップ支援として、チーム活動に用いる備品購入や、Tリーグのホームゲーム開催に必要な会場、設備等の借用に係る経費に対し、補助金を交付した。 ・企業版ふるさと納税を獲得するための市外企業への渉外活動を各チームと連携して実施した。	5	事業を継続実施することで、各チームと連携して獲得した企業版ふるさと納税を財源に、スタートアップ支援やスポーツ施設の整備を加速させることができている。また、寄附希望者に対して寄附を充当する連携事業のイメージを具体的に伝えられるよう、各チームの意向をヒアリング等により掘り起こしてアピールし、寄附の獲得に繋げていく。	これまで、大都市圏の大手企業からの寄附が多く、このような企業との繋がりを持つチームとの連携事業に寄附が集中しているため、渉外活動の中でこのような繋がり薄いチームとの連携事業のPRにも力を入れていく。また、寄附希望者に対して寄附を充当する連携事業のイメージを具体的に伝えられるよう、各チームの意向をヒアリング等により掘り起こしてアピールし、寄附の獲得に繋げていく。	・静岡ジェードへのスタートアップ支援として、Tリーグのホームゲーム開催に必要な備品購入に係る経費や、卓球を通じた地域活性化イベントの開催に係る経費に対し、補助金を交付した。 ・企業版ふるさと納税を獲得するための市外企業への渉外活動を各チームと連携して実施した。	5	事業を継続実施することで、各チームと連携して獲得した企業版ふるさと納税を財源に、スタートアップ支援やスポーツ施設の整備を加速させることができている。また、各チームの活用・支援を通じた社会全体の協働・共創によるまちづくりに寄与していることは評価できる。	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)は、現状、令和9年度までの制度であったため、制度が終了した時にプロスポーツチーム等と連携したスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりにどのように取り組んでいくのかを検討する必要がある。	スポーツ交流課	
R6 新規	3-3-②	プロ野球球団連携推進プロジェクト	スタートアップ段階にあるくふうハヤテの本拠地化を推進すると共に、ホームゲームを活かした球場周辺の経済活性化や、ハヤテグループを活用した地域振興を図る。	年間平均集客1000人以上					年間平均観客数:866人 ちゅ〜スタ最多観客数: 2,355人 ホームタウン集客促進事業・球場施設整備・交通対策・地域連携事業(15件)の実施	4	目標とする平均観客数の数値を下回る結果となったが、集客促進や、施設整備、地域連携事業の実施することで、球団の認知度向上や応援機運醸成を図ることが出来た。	平均観客数を市が目値値として設定することについて、見直しが必要と考える。市として推進したい取組、課題解決に向けた取組の効果をより高めるために球団を活用した取組をPT内で検討していく	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10~20%	21~69%	70~99%	100%

新規事業シート

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				令和6年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
	1-1-	葵区及び駿河区地域スポーツ振興事業補助金	スポーツ振興事業を行っている学区に補助金を交付することで、地域スポーツ事業の振興に繋げる。	補助金交付件数 40件				43件	5	各学区に周知をし、目標件数を達成することができた。	申請者が提出しやすいように、電子申請システムの使用を検討する。	スポーツ振興課		
	2-1-①	ハイキングコースの整備	市民が安全にハイキングできるよう、市内ハイキングコースの安全管理を行い、遭難等を防止する。	ハイキングコースの整備				・コース上の草刈の実施 ・案内看板、危険箇所の修繕の実施 ・関係団体との報告会の実施	5	計画どおり実施できた。	引き続き、市民が安全にハイキングコースを利用できるよう、関係団体等と連携を取り、危険箇所の早期発見に努め、計画的に修繕等を行っていく。	スポーツ振興課		